

国連安全保障理事会ーその前途は？

デイビッド・マローン氏

国際連合大学学長、国際連合事務次長

国連安全保障理事会は国連憲章のもとで、他の国連主要機関にはない、法的に国連加盟国を拘束する権限がある数少ない機関である。

東西冷戦の終焉後、安保理の活動はどのように変わったのか？

講演者は簡単な紹介の後、次の3つの観点から話を進める。

- ・ 安保理の新しい意思決定の方法
- ・ 安保理の意思決定を握る新たな要因
- ・ 安保理のあり方を考えた（安保理の構成の改革への要求を含む）
新しい組織改革

これら全てを包括した解決とは？

◎講演者略歴



2013年3月1日に国連大学に就任する以前は、デイビッド・マローン博士は、開発途上国における政策関連の研究支援、資金提供を行なう機関であるカナダ国際開発研究センターの所長を務めました（2008～2013年）。

マローン博士は、カナダ国際開発研究センター以前は、国連経済社会理事会のカナダ代表、国連のカナダ大使および代表部次席代表を歴任しました（1990～1994年）。さらに、カナダ外務・国際貿易省（DFAIT）の政策、国際機関、地球規模問題局局長（1994～1998年）、ニューヨークの独立した研究・政策開発機関である国際平和アカデミー（現国際平和研究所）の所長（1998～2004年）、カナダ外務・国際貿易省次官補（地球規模問題担当）（2004～2006年）、カナダの駐インド高等弁務官、ブータンおよびネパールの非常駐大使（2006～2008年）を務めました。

同博士はまた、ブルッキングス研究所の経済研究プログラム、トロント大学マッセイカレッジ、カールトン大学ノーマン・パターソン国際問題研究所の研究ポストに就き、コロンビア大学の客員研究員および非常勤教授、ニューヨーク大学ロースクールの非常勤教授も務めています。

2013年6月10日(月) 16:40～18:10

会場 ————— 本学1階 想海樓ホール

参加費 ————— 無料（事前登録制）

言語 ————— 英語（日本語同時通訳あり）

申込み ————— gripsforum@grips.ac.jp

今後の開催予定

2013年6月24日 シャルル・ムリガンデ氏（ルワンダ共和国大使）

2013年7月8日 野中 郁次郎氏（一橋大学名誉教授）

GRIPSフォーラムについて 政策研究大学院大学（GRIPS）は1997年の成立以来、政策研究に特化した唯一の大学院大学として様々な政策課題についての教育・研究を進めております。本フォーラムでは、GRIPSが持つ政策研究に関する広範なネットワークを活用し、各界のリーダー（政府関係者、行政官、産業界、研究者など）や本学関係者から、各種政策課題に関する貴重なお話を伺います。フォーラムは日英の同時通訳にて行い、学内外から広く聴講者を募集します。



政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

本学へは、都営大江戸線六本木駅（徒歩5分）、東京メトロ日比谷線六本木駅（徒歩10分）、または東京メトロ千代田線乃木坂駅（徒歩6分）をご利用ください。

79
th

GRIPS FORUM